



2021年6月7日

各 位

会社名 協栄産業株式会社
代表者名 取締役社長 平澤 潤
(コード番号 6973 東証第一部)
問合せ先責任者 取締役常務執行役員
村本 篤
(TEL 03-3481-2111)

静岡県裾野市と連携した「気象データと水位データを掛け合わせた水位予測モデルの構築」に関する実証実験開始のお知らせ

当社はこの度、静岡県裾野市並びに YuMake 合同会社（本社：大阪府中央区、代表社員 CEO：佐藤 拓也）、株式会社イーラボ・エクスペリエンス（本社：東京都渋谷区、代表取締役：石津 直彦）と連携し、2021年6月7日より、静岡県裾野市内の2か所の河川において、危機管理型水位計と気象データを活用した河川情報発信サービスの実証実験を開始いたします。また、株式会社イトラスト（本社：東京都台東区、代表取締役社長 酒井 龍市）の防災監視カメラを用いたアンダーパスの冠水多発地点の監視も併せて行いますのでお知らせいたします。

記

1. 概要

平成30年の西日本豪雨、令和元年の台風19号による被害など、日本全国で水害が多発しているなか、各自治体では危機管理型水位計や防災カメラの設置が進められています。しかし「小規模自治体では予算の確保が難しい」「行政で公開されている河川水位や離れた場所の防災カメラ映像では避難には結びつかない」「ホームページを開いてわざわざ見ない」など、予算確保が難しい中であっても地域密着なサービスを望む声が多く、市区町村からより詳細な情報発信の必要性も高まっております。

そのようななか、裾野市と連携し、市役所担当者様や、地域支援者様へ当該地区の状況を共有し、迅速な防災アクションがとれる水位変動や気象アラートを SNS で通知することでの的確な状況判断ができるシステムを提案・提供し、その用途や有効性の検証を行い実用化へ進めることといたしました。

2. 実証システムについて

本システムは、市役所担当者様や、地域支援者様へ当該地区の状況を共有し、迅速な防災アクションをとるため、水位変動や気象アラートを SNS で通知するものです。

3. 実証実験における検証項目

- ① 台風や梅雨、豪雨時における水位状況の把握と、降雨量と水位増加の相関関係による水位上昇予測に関する相関式の妥当性
- ② 導入による市役所担当者様の業務負担軽減効果
- ③ 上流河川や他県地域の気象データとの因果関係のデータ収集

④ 利用者への通知方法の有効性

4. 今後の展開

実証実験により得られたノウハウ等を活用し河川水位予想の精度を高め、河川近隣の建物や道路、アンダーパス等への冠水被害及び、河川改良工事や復旧作業における作業時の洪水被害など、地域住民や現場作業員に対し身近な場所の河川水位予測情報を通知することで、人的被害や家財への被害を最小限に抑え「住み続けられるまちづくり」(SDGs)への取り組みの一助となることを目指してまいります。

また、今後の市民サービスとして、SNSや自宅テレビ(IP通知端末利用を想定)に向けた、水位予測通知サービスの構築を進め、複数の自治体様や企業様への導入を目指します。

5. 今後の業績に与える影響

本件による当社の連結業績への影響は軽微であります。

以上